



**【ロートフォームユニット“RF-Conventional”ご使用ユーザー様へのご案内】**

**部品供給終了のご案内**

平素より弊社製造粒機“ロートフォームユニット”をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
 さて、長年ご使用いただいております造粒機“RF-Conventional”は既に生産中止となっております。  
 これまで弊社では、生産中止後 25 年間これらの部品を供給するため、部品の備蓄・代替品の開発等、最大限の努力をして参りましたが、当該機種部品については稼働機台数の減少、素材等の確保、図面及びマニュアルの削減、長納期及び高コストなどの理由により供給の継続が難しい状況となっております。  
 つきましては、下記のとおり 2020 年 12 月 31 日をもって全てのパーツを供給終了するご案内をさせていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

現在、後継機種“RF-4G”が弊社ドイツ本部にて開発され、世界各地にて販売されております。  
 つきましては、“旧型”の部品供給終了に伴い“最新型”へ更新をご計画の程宜しくようお願い申し上げます。  
 今後とも倍旧のご愛顧のほど宜しくようお願い申し上げます。

**1、対象機及び供給期限**

No,	タイプ		製造期間	対象部品	部品供給期限
1	旧型	RF-Conventional	1982年~1995年	本体含む全パーツ	2020年12月31日

**2、ご注意いただきたい事項**

- (1) 下記部品は部品供給期限まで供給継続が可能です。
  - \* SFベアリングユニット for Conventional
  - \* アウターシェル、ミータリングバー
  - \* O-ring、シールリング、カウンターリング、スライディングパッド、ストレーナー
- (2) 上記以外の部品はドイツ在庫合わせ供給期限が調整され部品によっては早期終了もございます。  
 また、部品により納期、価格が異なってきますので、ご注文頂く前に詳細を弊社営業までご確認の程お願い致します。
- (3) 部品供給期限までに安全性、機能性、操作性に優れた最新機種へのリニューアルをご検討賜りますようお願い申し上げます。

以 上



IPCO・ロートフォーム造粒システムは、  
工業界における冷却固化システムの  
ベンチマークであり続けます。

[ipco.com](http://ipco.com)

# —UPGRADE—AND— —RETROFIT— —ROTOFORM— —CONVENTIONAL—

# RF- Conventional 更新のご案内

IPCOロートフォームは、市場で最も普及している造粒装置です。1980年代初頭に発売されて以来、世界中のお客様から信頼され、現在まで2000台以上の納入実績があります。

当社の初期のモデルであるロートフォームユニットRF-Conventionalは、1995年にRF-3000を経て最新型RF-4Gに切り替えられました。RF-4Gシリーズは、更なる機能性及び安全性の向上と運用・保守の容易化を実現した高度なテクノロジーを搭載しています。

多くの機械メーカーの標準である部品供給10年よりもはるかに長い期間、当社はRF-Conventionalの予備品をご提供してきました。

2020年にはRF-Conventionalの予備部品を供給し続け25年目を迎えますが、2020年12月31日にその供給を終了する運びとなりました。

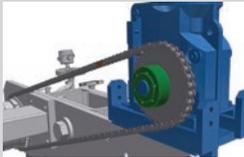
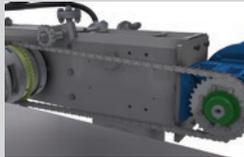
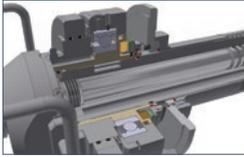
そこで、お客様が今後何年にもわたって、当社のサポートを受け続けることができる、RF-4Gへの更新をご提案いたします。

保守・清掃が容易なヒンジ付き  
リフィードバー  
(90° 開口仕様)

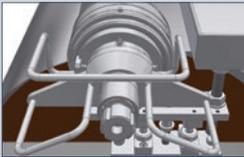
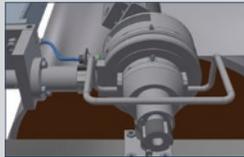
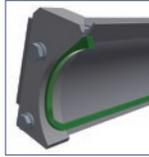
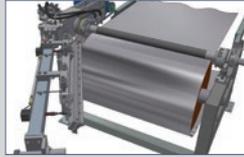
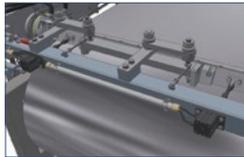
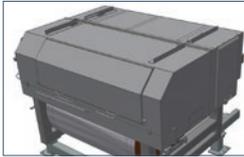


# RF-4Gへの更新 - RF-4Gのメリット

最新のRF-4G機種への更新は、多くのメリットがあります。

	RF-Conventional	RF-4G
ドライブチェーン		
速度制御	エンコーダーで速度検知し制御。又はバイエルサイクロによる手動調整。	近接センサーもしくはインバーターからの信号により制御。
ドライブチェーン	チェーンテンショナーなし。締め付けには駆動装置の調整が必要。定期的な調整が必要。	チェーンテンショナーあり。チェーンの振動、磨耗が少なく、メンテナンス回数が少ない。
チェーンテンショナー	テンショナーが無い場合や、ウェート式のチェーンテンショナーがついている場合もある。	スプリング式のチェーンテンショナーがついており、チェーンの寿命が延び、交換時のメンテナンス性が向上。
ステーター	 	 
低粘度用プリディストリビューションノズル	ノズルシールの硬化や破損により、造粒に悪影響を与える。交換時、特殊な工具が必要。	ノズルを改良し、メンテナンスコストが低減され、ノズルシールの長寿命化に成功。交換が容易となり、特殊な工具は不要。
ベアリングユニット		
メカニカルシール	アウターシール側にあるシールリングとベアリングユニット側にあるカウンターリングによりシールしている。外部と直接触れる構造のため破損する場合があります。メカニカルシール部にスプリング構造を持たないため、テンションが均一にかかりにくい。	ベアリングユニット内にメカニカルシールを装着。スプリング構造を内蔵しているためテンションが均一にかかり液漏れを低減。シールリングは各種素材のラインナップがあり工業用、食品用、医薬品用途に対応可能。シールリング、カウンターリングは分解しなくとも確認可能で、駆動側ベアリングユニットはステーターから取り外さずに交換が可能。
ボールベアリング	製品が漏れた際、ベアリング内に混入してしまう事がある。	製品が漏れにくく、ベアリング内に混入しにくい構造。



	RF- Conventional	RF-4G
<b>リフィードバー</b>		
リフィードバー	 <p>リフィードバーサポートはステーターに接続されていない。(未固定)</p>	 <p>運転中はリフィードバーとステーターが接続されている。(固定式) 基本調整は定期整備のみ実施され、ギャップ調整後の再調整は不要。</p>
シーリング	 <p>スリーピースデザイン。パーツが分離しており、完全なシールが難しく、脱落及び液漏れにつながる。</p>	 <p>完全なワンピースデザイン。シール性能が良い。 シール性と製品形状の向上。</p>
メンテナンス	 <p>調整する場所が多く、誤った調整をすると造粒不良となる。</p>	 <p>安全かつ簡単にメンテナンスや清掃が可能になりアクセスが良好。 リフィードバーシール交換後は、それ以上の調整は不要。</p>
リフィードバーの作動	 <p>機械式で中央部1点で接しているため、左右均等に当たりにくい場合がある。</p>	 <p>機械式またはエア式-自動化が可能。中央から離れた2点で接している。シール性能が均一。</p>
安全フード		
安全フード	CE基準の承認なし	最新のCE安全基準を満たし、運転中はフードがロックされる。 オプションで照明も可能。

CE基準：EU内で販売される製品に対する安全基準制度

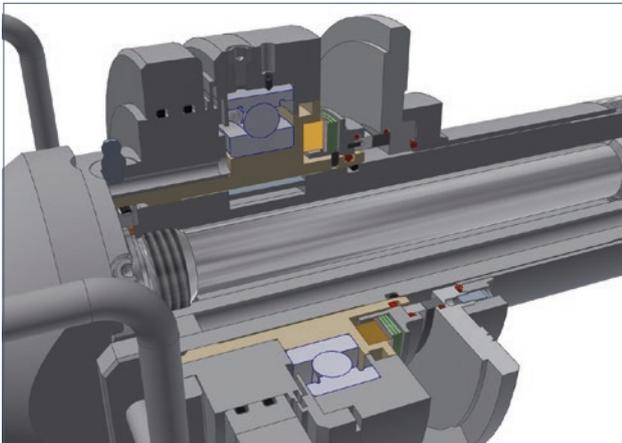
## RF-4Gへの更新 – その大きなメリット

2021年1月1日以降は、RF-conventionalの全ての予備品を供給いたしかねます。  
“最新型”への更新をご検討ください。最新型RF-4GはRF-conventionalの革新的なロートフォームシステムの原理を引き継ぎながら、さまざまな改良によって大幅なパフォーマンス向上が見込めます。

- 安全フードを改善し、加熱される部品と可動部品は完全に覆われます。
- 操作はシンプルです。
- ベアリングの保守は容易かつ少ない頻度で行われます。
- ヒンジ式(90°開閉式)のリフィードバーを採用したため、リフィードバーシールの交換が容易です。

RF-4Gは最新のロートフォームテクノロジーを搭載しており、投資に見合う成果をもたらします。

詳しくは、IPCOにお問い合わせください。





AND RETROFIT  
ROTORM  
CONVENTIONAL  
UPGRADE